

# 令和7年度 入学試験（一般 第2回）問題

## 国語

受験番号		氏名	
------	--	----	--

○ 指示があるまで開かないこと。

令和6年12月21日(土) 9時00分 ~ 9時45分

### 【注意事項】

- 試験問題の数は25問です。
- 問題用紙及び解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入してください。  
解答用紙はマークシートと記述解答用紙の2枚あります。下記の記入例をみて記入してください。
- 解答は、指示に従いすべて解答用紙にマークしてください。問題用紙に記載しても無効です。  
なお、マークシートの解答用紙には解答欄が50問までありますが、25問からはマークしても無効です。
- 試験問題は四-【21】以外すべて5つの選択肢があります。質問に適した選択肢を選び、その番号を解答用紙にマークしてください。2つ以上マークした場合は無効となります。  
なお、試験問題の四-【21】については、記述解答用紙の問25に記入してください。

### 【解答用紙マークシート記入例】

フリガナ	セイ トウ ハナ コ	年	月	日	国語
氏名	聖 灯 花 子	6	12	21	

### 〔受験番号記入例〕

番 号									

問	解 答 欄
1	① ② ③ ④ ⑤
2	① ② ③ ④ ⑤
3	① ② ③ ④ ⑤

問	解 答 欄
11	① ② ③ ④ ⑤
12	① ② ③ ④ ⑤
13	① ② ③ ④ ⑤

マーク例

良い例	悪い例
●	☑ ○ ●

※番号欄には、右づめで受験番号を記入し、該当部分の数字をマークしてください。

### 【記述解答用紙記入例】

受験番号
32001
氏名
聖 灯 花 子
評 定

令和七年度 入学試験（一般 第二回）問題（国語）

一次の文章を読んで、後の【1】～【5】に答えなさい。

軀の上に大きな消しゴムが乗っかっている。

消しゴムは、はじめ畳一枚ほどの大きさだった。除けようとすれば除けられたのだが、ほろ酔いでソファに寝そべり、毛布でも掛けようかなと思っていたところなので、ふんわりと軽い重さはかえって心地よく、除けるのが惜しかった。

それに消しゴムの消毒くさい冷たい匂いは、ついさっきまで騒いでいた穴ぐらスナックの、酒と煙草とにらレバ炒めとししゃもを焼く煙で馬鹿になった鼻を綺麗にしてくれそうな気がする。

軀の上の消しゴムは、ふくれ上ってマットレスの大きさになっている。すこし重たいが、この重さは、かえってア快感がある。昼間思いきり泳いで眠った夜の、小指一本動かすのも大儀な、甘だるいあの感じに似ていた。

どこかで猫が啼いている。うちの飼猫の声だが、なんだって夜中にあんな声で啼くのだろう。猫の啼声にまじって、シューシューという音も聞える。誰かが髪にスプレーをかけている。誰だろう。同じアパートに住むホステスで、夜中の一時過ぎに帰り、帰るとすぐ電気掃除機の音を立てて癩症に掃除をする人がいるが、あの人に違くない。ついこの間の大雨の夜、送ってきた男と言い争いになり、黒く濡れたコンクリートの床に白い着物が大字になって揉み合っているのを見たが、あの時もスプレーで固めた髪だけは崩れていなかった。㊦、この部屋の三階上のスプレーの音がどうして聞えるのだろうか。

私の上に乗っかっているのは、白い四角い消しゴムである。うちの両親は、新聞は朝日、キャラメルは森永という四角四面の人間だったから、消しゴムもごく当り前のしか買って貰えなかった。友達の持っている刷毛のついたのや、長方形で二色染め分けになった消しゴムが羨しかった。長方形の半分は白だが、半分は砂の入ったジャリジャリする鼠色のゴムで、ノートや答案用紙を荒っぽくこすると紙が破けて困ったが、画用紙などのザラザラした紙の書き損いはよく消えた。

石鹼ゴムというのもあった。

うす黄色い泡を固めたような、湿り気のある消しゴムで、よく消える代り垢すりですった時のような、擦った黒いカスが沢山出た。このカスを丸めて飛ばし合いをしたりするので、石鹼ゴムを持ってきてはいけません、と先生に叱られた覚えがある。

だが、私の上に乗っているのは、白い四角い消しゴムである。目をつぶっているのに、あかりを消した部屋の中で白く大きくふくらんでゆくのが見える。遂に消しゴムは六畳の部屋いっぱいになり、天井までキッチン詰まってしまった。こんなことなら、少し窓をあけて置けばよかった。そうすれば、焼けて白くふくらんだ餅からプシュッと鼻ぼこ提灯が出るように外へ息が抜けたのだ。猫の啼声とスプレーの音は、遠くなったがまだしつこく続いている。ひどく寒い。帰ってすぐガストープをつけた筈のだが、少しも温まってこないのはどういうわけだろう。

大変なことになった、と気がついたのはこの時である。ガスが洩れている。何とかしなくては、と思うのだが、体が動かない。ふくれ上った消しゴムは手の指股まで入り込んで、じんわりと重みをかけ、小指一本動かぬようソファに縫いつけている。ウ、とろけるように気持がいい。

ガス中毒で死にかけた友人がいた。あれは誰だったのか。こういう場合役に立つことを聞いた覚えもあるが、思い出せない。まず目だけでも開けなくてはと思うのだが、瞼は接着剤で貼りつけられ、どんなに力をこめても開かないのである。

このままでは死んでしまうぞ、と自分で自分を威しながら、もう一人の自分がそれを打消している。お前は夢を見ているのだ。夢の中で、ガス中毒になった夢を見ているのだ。今までも似たことはあったではないか。そのまま、眠ってしまえば何ともないのだ。夢の中の夢を真に\*\*、せっかくのとろけるような快感を台なしにするのは勿体ないではないか。

結局、私は渾身の力を振りしぼって軀の上の消しゴムを押しつけて起き上った。窓を開けて空気を吸い、息をとめて引返し、ガストロブの栓を閉じた。上から押しつけて点火する型式のストロブを、さかりがついて暴れていた猫が、何かのはずみでもう一度押ししまい、火が消えてガスが洩れていたらしい。

家中のドアと窓を開け放った。私は窓から身を乗り出し、体を二つ折りにして吐いた。猫も廊下へ出て吐いている。深呼吸をしたら、空気が酔いぎめの水のようにおいしかった。あけ方の四時であった。

その日は夕方まで頭が痛かった。脳みそがビニール袋をかぶったよう、人の言うことが膜一枚向うに聞こえ、ぼんやりしていた。夕方になってどうやら食欲も出たので、食事の支度に野菜籠にころがっていたキャベツを手にとった。外側の汚れた皮を一枚むいたら、中からガスが匂った。抽斗の中の畳んだハンカチも広げると匂ったし、ハンドバッグの中の小銭入れもパチンと開けるとガス臭かった。

本当に恐ろしくなったのは、それからである。

(向田邦子『消しゴム』)

【1】 傍線部\*の漢字の正しい読みを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問1】

- ① \* ①かんしょう ②せんしょう ③えんしょう ④けんしょう ⑤そくしょう

【2】 傍線部「真に」に続く\*\*として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問2】

- ② \*\* ①とって ②とめて ③おって ④うけて ⑤もって

【3】 空欄㉞㉟に該当する語を、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問3】

- ③ ㉞ ①こうしがたい ②いきぐるしい ③やりきれない ④きはずかしい ⑤うしろめたい  
④ ㉟ ①そもそも ②ふりかえって ③だからといって ④それにしても ⑤ところで  
⑤ ㉟ ①だからといって ②そのくせ ③それでいて ④おまけに ⑤にもかかわらず

【4】 この文章の作者・向田邦子の作品として正しくないものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問6】

- ⑥ ①『父の詫び状』 ②『わたしの渡世日記』 ③『夜中の薔薇』 ④『眠る盃』 ⑤『字のない葉書』

【5】 筆者は波線部で、読者に何を伝えたかったのか。筆者の思いとしてふさわしいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問7】

- ⑦ ① 近々、更に恐ろしいことが起きるのではとの気持ちを抑えられない自分自身が不安、という思い。  
② 全てが事実であったかどうかを含め、結局何も本当に理解できていないことが何より不安、という思い。  
③ 今回は何とか逃れられたものの、再び起こり得るのではと考えると絶望せざるを得ない、という思い。  
④ 世の中のほとんどのことは、いくら年齢や経験を重ねてもしよせん理解不能なのは、という思い。  
⑤ 常に今回のような重い何かに覆われているのが人生なのだ、と改めて理解できた、という思い。

二次の【6】～【10】の言葉の対義語・反対語としてふさわしいものを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【6】 「粗暴」【解答欄は問8】  
① 温輪      ② 御和      ③ 温和      ④ 恩和      ⑤ 温話

【7】 「解放」【解答欄は問9】  
① 束麦      ② 捉縛      ③ 束漠      ④ 塞縛      ⑤ 束縛

【8】 「停滞」【解答欄は問10】  
① 進直      ② 新捗      ③ 信直      ④ 進捗      ⑤ 親直

【9】 「濃縮」【解答欄は問11】  
① 希积      ② 規积      ③ 希借      ④ 起积      ⑤ 希石

【10】 「興奮」【解答欄は問12】  
① 鎮整      ② 鎮静      ③ 鎮精      ④ 沈静      ⑤ 鎮性

三次の【11】～【15】の作者の作品として正しくないものを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【11】「川端康成」【解答欄は問【13】】

- ① 「山の音」  
② 「千羽鶴」  
③ 「痴人の愛」  
④ 「伊豆の踊子」  
⑤ 「雪国」

【12】「宮尾登美子」【解答欄は問【14】】

- ① 「一絃の琴」  
② 「婉という女」  
③ 「藏」  
④ 「序の舞」  
⑤ 「寒椿」

【13】「新美南吉」【解答欄は問【15】】

- ① 「牛をつないだつばきの木」  
② 「おじいさんのランプ」  
③ 「手ぶくろを買いに」  
④ 「注文の多い料理店」  
⑤ 「ごんぎつね」

【14】「オー・ヘンリー」【解答欄は問【16】】

- ① 「クリスマス・キャロル」  
② 「古パン」  
③ 「賢者の贈り物」  
④ 「二十年後」  
⑤ 「最後の一片」

【15】「フランシス・ホジソン・バーネット」【解答欄は問【17】】

- ① 「小公子」  
② 「秘密の花園」  
③ 「小公女」  
④ 「消えた王子」  
⑤ 「あしながおじさん」

四 次の文章を読んで、後の【16】～【21】に答えなさい。

保津川に沿うた小さな崖がけの上の駅だ。ほづきょうは「保津峡」と書くのかどうかしらぬが、溪谷けいこくの段に柵のよ  
うなホームをもったこの駅のひらがなだけの「ほづきょう」という標示板がうかぶ。

京都から、山陰本線で、若狭へ帰る際、亀岡へ着くまで、汽車はトンネルの多い保津川沿いを走るのだが、ほづき  
ょうでは急行はもちろん停とまらない。鈍行の各駅停車のディーゼルだけが停るが、私はここでめったに降りたことも  
なければ、乗ったこともなかった。ただ、保津川に沿うた対岸の道を歩いていて、はるかに、この小駅を眺めて  
すぎるか、汽車が駅を黙殺して走る時に、窓から首をだして、ホームのあたり、一段さがって川に架っている吊  
り橋のあたりのカンガ③なけしきを見てほっとしている。

溪谷は、亀岡から舟下りの屋形船が、竿さかをつかって、巧妙に波しぶきをくぐりぬける、例の舟あそびの川である。  
低くえぐれた川床は、ところどころに牛が寝たような岩石を寝かせ、たくさんの鳥でもとまったみたいなお岩を  
とびとびにみせて、青い流れが、そこをまがりくねって流れていた。急流なので瀬が音をたてて走るところがあ  
るかと思えば、六畳敷ぐらいの大石に当って、そこに青黒い淵が出来ていたりする。

川から、両側の岸を仰ぐと、みごとに岩石のキツリツだ。岩の裂け目にコブを抱いたような赤松が、形のいい  
枝を④、何本も見える。霧がかかると、川は錫すすいろに光り、崖の肌は橙だいだいいろになって、被いかぶさる上部  
の原始林は灰と緑の綾になって眼を吸いつけるのである。

京都へ出る若狭人は、この溪谷をみて、いよいよ京都が近づいたことを知り、京を出て若狭へ帰る人は、いよ  
いよここで、京の空を⑤、気持ちになる。

空は谷川の上をくねった帯のようにのび、ひろい京の空と、亀岡平野の空とをむすんでいるのである。その空  
の下を、汽車は、まるで長い虫が穴ぐらをすすむようにゆっくり走る。

ちよかわ、うまほり、ほづきょう。この駅が私の臉にこびりつくのは、一人の母が自殺した年からだ。それは、  
金閣に放火して、国宝を焼亡させた同寺の小僧林養賢君の母志満子さんである。彼女は、息子の放火と逮捕がつたわっ  
た昭和二十五年七月二日に、大江山麓の実家から、弟さんに伴われて、当時西陣署にしじんに留置されていた養賢君に会  
うべく汽車で出かけたが、折角、面会を申し出たのに、養賢君の意志で、会うことがゆるされなかった。

志満子さんは、若狭湾に面した、成生村なりうの小さな寺へ嫁して、養賢君を生み、のち、夫の死によって、大江山  
の里へ帰っていたのだった。養賢君が、金閣寺の徒弟に入って、将来は、立派な僧侶となってくれることを願っ  
ていたのだが、それが、裏目に出て、おそろしい大罪を犯すことになって、うろたえて京都まで走ったのだ。

養賢君が母との面会を拒絶した理由については、いろいろ取沙汰とりぎたされているが、真相はわからないもの  
の、とにかく、拒否されては母親も立つ瀬がなかった。志満子さんは、二日の夜は西陣署に泊ったそうだが、  
⑥ 気持ちを抱いて、翌朝警官におくられて、花園駅から、帰郷の途についた。

汽車は、花園駅を出て、嵯峨でとまり、嵯峨を出ると、トンネルに入り、そこからは急に空は狭くなって、溪  
谷ぞいへ出た。

志満子さんは、三車輻と四車輻のあいだの連結点にいたそうだが、汽車がほづきょうに近づくとちよっと手前の  
崖をのぞいていて、急に身をひるがえして、溪谷に落下した。弟さんの目の前で突発事だった。

志満子さんの軀は、崖石に当って、谷川へ落ちたが、やがて急流に流されて、百メートルぐらい下の淵に浮いた。  
即死していたことは勿論である。驚いた弟さんが、馬堀で降り、駅員につけて、亀岡の篠村交番しのぶから警官がきて、  
志満子さんの遺体を確認し、舟にのせて、川をわたり、川沿い道からリヤカーで亀岡へはこぶ時は、日も暮れか  
かる時刻だった。

哀れにも、金閣を焼いた子を生んだ母は、国中が、国賊的犯罪だと罵倒したその世間に対して、死をもってこ  
たえたのである。謝罪したい一念の死だったと、新聞は伝えた。

その昭和二十五年から、今日で三十年の歳月が流れた。

私はよく、この保津川の道を好んで歩く。ここはけしきがいいばかりでなく、私にとって、小僧時分によく  
散歩した道だからだった。清滝川きよたきと合流するところを落合とよんでいるが、ここの白洲しらすに佇んでいると、はるか

ほづきょうの岩棚のような駅がみえる。空にいくつもの尾根の重なるのも美しい。

金閣を焼いた養賢君は、刑務所を出てから宇治うじの病院にいて昭和三十一年に病死したが、皮肉にも、その年まわりは金泥にぬられた金閣が再建されていた。黄金の鳳凰も立派にその屋根に輝いていたが、にぎやかな落成式の記事の出た新聞の片隅に、林養賢君のしずかな死がたたえられたのを私は今日も<sup>◎</sup>テモトにのこしている。

ほづきょうは、つまり、そういう母子の霊魂のねむる駅のように思う。養賢君も、十八歳で、若狭を出る日には、この駅を見て京に入ったのである。

美しい溪谷、青い淵、白いしぶきをあげて走る瀬。保津川は何も物をいわない。が、こっちの心がかたむけば、山河は養賢君と母さんへの鎮魂のことはを投げかけてくる。私にとって、ほづきょうはそういう駅というしかない。

(水上勉『山陰本線保津峡駅——霊魂のねむる駅』)

【16】 二重傍線部①～③の漢字として正しいものを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問18～20】

- |    |      |      |      |      |      |
|----|------|------|------|------|------|
| 18 | ① 閑賀 | ② 閑雅 | ③ 閑河 | ④ 閑画 | ⑤ 閑香 |
| 19 | ① 吉立 | ② 詰立 | ③ 喫立 | ④ 屹立 | ⑤ 枯立 |
| 20 | ① 手許 | ② 手下 | ③ 手基 | ④ 手素 | ⑤ 手元 |

【17】 傍線部「枝を」に続く①～⑤として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問21】

- |    |        |        |        |        |        |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 21 | ① たわめて | ② そろえて | ③ まとめて | ④ くるめて | ⑤ たばねて |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|

【18】 傍線部「空を」に続く①～⑤として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問22】

- |    |      |       |      |       |      |
|----|------|-------|------|-------|------|
| 22 | ① 恨む | ② 捨てる | ③ 放す | ④ 投げる | ⑤ 思う |
|----|------|-------|------|-------|------|

【19】 傍線部「気持」の前に置く①～⑤として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問23】

- |    |         |         |         |         |         |
|----|---------|---------|---------|---------|---------|
| 23 | ① せわしない | ② もどかしい | ③ やるせない | ④ なやましい | ⑤ たまらない |
|----|---------|---------|---------|---------|---------|

【20】 この文章の作者・水上勉の作品として正しくないものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問24】

- |    |          |            |           |         |         |
|----|----------|------------|-----------|---------|---------|
| 24 | ① 『飢餓海峡』 | ② 『五番町夕霧楼』 | ③ 『越前竹人形』 | ④ 『雁の寺』 | ⑤ 『砂の器』 |
|----|----------|------------|-----------|---------|---------|

【21】 筆者は波線部で、読者にどんな思いを伝えたかったのか。五十字で述べなさい。【解答は記述解答用紙問25】

25 記述解答用紙へ